



平成17年
11月
第2号

ひおき 市議会だより

発行/日置市議会
編集/議会広報編集委員会

〒899-2592 鹿児島県日置市伊集院町郡一丁目100番地
TEL(099)273-2111 FAX(099)273-3063
<http://www.city.hioki.kagoshima.jp>



秋晴れのもと楽しく行われた大運動会(日吉地域 日置小学校)

9月定例会 主な内容

- ・9月定例会の経過報告 -- P 2
- ・一般会計 補正予算 --- P 3
- ・特別委員会を設置しました P 6
- ・常任委員会 審査報告 P 7
- ・一般質問 ----- P10
- ・傍聴席から ----- P20

9月定例会の経過報告

9月定例会は9日に招集され、28日までの20日間の会期で開かれた。

9日（第一本会議）

例月出納検査結果報告、議長会議等報告、行政報告の後、専決処分承認議案2件、規約変更議案15件、条例改正議案5件、補正予算議案8件、その他議案9件、16年度及び17年度（4月分）旧各町の決算認定議案57件、請願1件、陳情3件が上程され、質疑・討論の後、専決処分承認議案2件、規約変更及び条例改正議案29件が原案のとおり可決された。補正予算案8件、請願1件、陳情3件は所管の各常任委員会へ付託された。決算認定議案57件の説明があった。

13日

総務企画常任委員会へ付託された陳情1件、議案3件の審査をおこない原案のとおり採択するものと決定した。

環境福祉常任委員会へ付託された議案3件、継続審査となっていた請願1件の審査をおこない原案のとおり採択するものと決定した。

産業建設常任委員会へ付託された陳情2件、議案5件の審査をおこない原案のとおり採択するものと決定した。

教育文化常任委員会へ付託された請願1件、議案4件の審査をおこない原案のとおり採択するもの

と決定した。

20、22日（第二、第四本会議）

18人の議員が一般質問をおこなった。

28日（最終本会議）

各常任委員会へ付託された補正予算議案8件、請願2件、陳情3件について委員長報告の後、質疑・討論をおこない原案のとおり可決された。

9日第一本会議で上程済みの認定議案57件について、決算審査特別委員会設置が決定されたため、特別委員会への付託が決定された。追加議案として契約締結議案2件、補正予算議案1件、条例改正議案1件、その他議案2件が上程され即決により原案可決となった。



日置市議会議場（9月定例会本会議）

議会の動き

8月1日	熊本県玉名市合併特別委員会視察来庁
12日	市町村政研修会
22日	全員協議会・議員研修会
9月2日	議会運営委員会
9日	第3回定例会招集
13日	総務企画・環境福祉常任委員会
14日	産業建設・教育文化常任委員会
20日	一般質問（21・22日）
28日	第3回定例会最終本会議
10月3日	全員協議会・議会運営委員会
5日	第4回議会臨時会
9日	広報編集委員会
9日	各地域運動会
12日	公共工事不正再発防止等調査特別委員会（第1回）
13日	議会運営委員会
14日	広報編集委員会
17日	第5回議会臨時会・全員協議会
18日	木材需要拡大のための要望活動応待
20日	公共工事不正再発防止等調査特別委員会（第2回）
21日	決算審査特別委員会（24・25・26・28・31日）
22日	兄弟姉妹都市盟約継承締結式
27日	（関ヶ原町・多賀町・加治木町）
27日	福岡県うきは市議会運営委員会視察来庁
28日	広報編集委員会
28日	伊集院署管内沿岸防犯協議会
29日	姉妹都市盟約継承締結式
29日	（弟子屈町）
31日	東市来文化交流センター落成記念式典
31日	公共工事不正再発防止等調査特別委員会（第3回）

(単位：千円)

補正前 補正後 億

科目	補正前	補正後	差額	1	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60
市 税	3,542,635	3,542,635	0	[Bar chart showing 0 difference]												
地方譲与税	647,518	528,918	-118,600	[Bar chart showing decrease]												
交付金	6,655,922	6,432,552	-223,370	[Bar chart showing decrease]												
分担金及び負担金	288,338	293,480	5,142	[Bar chart showing increase]												
使用料及び手数料	422,022	426,545	4,523	[Bar chart showing increase]												
国庫支出金	3,197,991	3,338,212	140,221	[Bar chart showing increase]												
県支出金	1,504,621	1,634,164	129,543	[Bar chart showing increase]												
その他諸収入	1,606,955	2,079,436	472,481	[Bar chart showing increase]												
繰入金	2,124,698	2,226,805	102,107	[Bar chart showing increase]												
繰越金	0	0	0	[Bar chart showing 0 difference]												
市 債	3,638,700	4,355,600	716,900	[Bar chart showing increase]												
歳入合計	23,629,400	24,858,347	1,228,947	[Bar chart showing total increase]												

歳入

一般会計 補正予算

歳出

(単位：千円)

億

科目	補正前	補正後	差額	1	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60
議会費	208,848	207,869	-979	[Bar chart showing decrease]												
総務費	2,220,478	2,350,508	130,030	[Bar chart showing increase]												
民生費	4,769,683	5,102,034	332,351	[Bar chart showing increase]												
衛生費	2,434,521	2,407,740	-26,781	[Bar chart showing decrease]												
労働費	11,702	11,702	0	[Bar chart showing 0 difference]												
農林水産業費	1,406,454	1,557,410	150,956	[Bar chart showing increase]												
商工費	161,753	158,762	-2,991	[Bar chart showing decrease]												
土木費	4,440,767	4,581,643	140,876	[Bar chart showing increase]												
消防費	559,398	670,382	110,984	[Bar chart showing increase]												
教育費	4,083,328	4,128,669	45,341	[Bar chart showing increase]												
災害復旧費	81,918	405,931	324,013	[Bar chart showing increase]												
公債費	3,235,584	3,260,731	25,147	[Bar chart showing increase]												
諸支出金・予備費	14,966	14,966	0	[Bar chart showing 0 difference]												
歳出合計	23,629,400	24,858,347	1,228,947	[Bar chart showing total increase]												

〔特別会計・公営企業会計 補正予算〕

(単位：千円)

国民健康保険特別会計	5,505,642
特別養護老人ホーム事業特別会計	311,106
公共下水道事業特別会計	533,325
国民宿舎事業特別会計	284,480
国民保養センター及び老人休養ホーム事業特別会計	169,478

簡易水道事業特別会計	322,020	
介護保険特別会計	2,481,166	
水道事業会計	収益の収入	470,021
	収益の支出	470,021

審議・採決結果

9月定例会 上程議案

件名	結果	件名	結果
・専決処分につき承認を求めることについて (鹿児島県市町村土地開発公社定款の一部を変更する定款について)	承認	・串木野市・市来町・日置市衛生処理組合を構成する地方公共団体の数の減少及び串木野市・市来町・日置市衛生処理組合規約の変更に関する協議について	原案可決
・専決処分につき承認を求めることについて (平成17年度日置市一般会計補正予算) (第1号)	承認	・日置市長の給与の特例に関する条例の制定について	原案可決
・鹿児島県市町村自治会館管理組合を組織する地方公共団体の数の減少に関する協議について	原案可決	・日置市交通安全対策会議条例の一部改正について	原案可決
・鹿児島県市町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更に関する協議について	原案可決	・日置市半島振興対策実施地域工業開発促進条例の一部改正について	原案可決
・鹿児島県市町村議会議員公務災害補償等組合を組織する地方公共団体の数の減少及び鹿児島県市町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更に関する協議について	原案可決	・日置市民館条例の一部改正について	原案可決
・鹿児島県市町村交通災害共済組合規約の変更に関する協議について	原案可決	・日置市伊集院文化会館条例の一部改正について	原案可決
・鹿児島県市町村交通災害共済組合を組織する地方公共団体の数の減少及び鹿児島県市町村交通災害共済組合規約の変更に関する協議について	原案可決	・団体営農業用河川工作物応急対策事業油田尾地区の事業申請に関する協議について	原案可決
・鹿児島県市町村交通災害共済組合の財産処分に関する協議について	原案可決	・平成17年度日置市一般会計補正予算(第2号)	原案可決
・鹿児島県市町村消防補償等組合を組織する地方公共団体の数の減少及び鹿児島県市町村消防補償等組合規約の変更に関する協議について	原案可決	・平成17年度日置市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
・鹿児島県市町村消防補償等組合の財産処分に関する協議について	原案可決	・平成17年度日置市特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
・鹿児島広域市町村圏協議会を設ける普通地方公共団体の数の減少及び同協議会規約の変更に関する協議について	原案可決	・平成17年度日置市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
・鹿児島広域市町村圏協議会を設ける普通地方公共団体の数の増加及び同協議会規約の変更に関する協議について	原案可決	・平成17年度日置市国民宿舎事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
・西薩火葬場組合を構成する地方公共団体の数の減少及び西薩火葬場組合規約の変更に関する協議について	原案可決	・平成17年度日置市国民保養センター及び老人休養ホーム事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
・薩南火葬場組合を解散するための協議について	原案可決	・平成17年度日置市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
・薩南火葬場組合を解散に伴う財産処分に関する協議について	原案可決	・平成17年度日置市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
・薩南衛生処理組合を組織する地方公共団体の数の増減、共同処理する事務の変更及び薩南衛生処理組合規約の変更に関する協議について	原案可決	・上市来中学校屋内運動場建築工事請負契約の締結について	可決
・薩南衛生処理組合の共同処理事務変更に伴う財産処分に関する協議について	原案可決	・まちづくり交付金事業(仮称)伊集院ドーム新築工事請負契約の締結について	可決
		・日置広域連合を解散するための協議について	原案可決
		・日置広域連合の解散に伴う財産処分に関する協議について	原案可決
		・日置市議会政務調査費の交付に関する条例の制定について	原案可決
		・平成17年度日置市一般会計補正予算(第3号)	原案可決
		・道路整備の促進及び道路財源の確保等に関する意見書	原案可決

定例会・臨時会の

請 願

福祉有償運送許可申請に係る運営協議会設置に関する請願

採 択

- ・請 願 者 特定非営利活動法人 日吉いこいの会 会長 南 三津江
特定非営利活動法人 樹 理事長 花木 広昭
- ・紹介議員 鳩野 哲盛
- ・付 託 環境福祉常任委員会

義務教育費国庫負担金制度堅持に関する請願

採 択

- ・請 願 者 山下 博司
- ・紹介議員 坂口 洋之
- ・付 託 教育文化常任委員会
- ・意見書 原案可決
- ・送付先 内閣総理大臣 文部科学大臣 財務大臣 総務大臣 参議院議長 衆議院議長

陳 情

甘しょ・でん粉政策・価格に関する陳情

採 択

- ・陳 情 者 さつま日置農業協同組合 代表理事組合長 松崎 俊明
鹿児島県農民政治連盟 東市来支部長 片平 勇 伊集院支部長 重信 忠身
日吉支部長 山里 一幸 吹上支部長 原口 三善
- ・付 託 産業建設常任委員会
- ・意見書 原案可決
- ・送付先 農林水産大臣 財務大臣 外務大臣

伊集院町土橋の市道大崩線と新山御堂線間の農道を市道に認定の陳情

不採択

- ・陳 情 者 下土橋自治会長 高山 武志
- ・付 託 産業建設常任委員会

下神殿地区消防車庫建設工事費の補助金交付を求める陳情

採 択

- ・陳 情 者 下神殿1区自治会長 松尾 月男 下神殿2区自治会長 桃北 健
下神殿3区自治会長 貴島 修一 下神殿4区自治会長 東 功
- ・付 託 総務企画常任委員会

10月3日 臨時会上程議案

件 名	結 果
・日置地区消防組合を解散するための協議について	原案可決
・日置地区消防組合の解散に伴う財産処分に関する協議について	原案可決
・鹿児島県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び鹿児島県市町村職員退職手当組規約の変更に関する協議について	原案可決
・鹿児島県市町村非常勤職員公務災害補償等組合を組織する地方公共団体の数の減少及び鹿児島県市町村非常勤職員公務災害補償等組規約の変更に関する協議について	原案可決

10月17日 臨時会上程議案

件 名	結 果
・日置市介護保険条例の制定について	承 認
・日置市介護保険給付費準備基金条例の制定について	承 認
・日置市消防本部及び消防署設置条例の制定について	承 認
・日置市火災予防条例の制定について	承 認
・日置市部設置条例等の一部を改正する条例について	承 認
・平成17年度日置市一般会計補正予算（第4号）	承 認
・平成17年度日置市介護保険特別会計補正予算（第1号）	承 認
・平成17年度日置市一般会計補正予算（第5号）	原案可決

公共工事不正発防止等調査特別委員会の設置について

旧伊集院町での贈収賄事件、業者による談合など新市発足直後に発覚した不祥事により、日置市政への信頼は大きく損なわれた。

これを重く受け止め、地方自治法第110条および委員会条例第6条に基づき、「公共工事不正発防止等調査特別委員会」を設置することを決議した。目的は、職員による汚職事件および談合事件に至った経緯、また再発防止策の調査を行うものである。

期限は調査終了までで、結果は調査後の本会議で報告される。委員会の定数は12人で、委員は次のとおりである。

委員長	池満 渉
副委員長	大園 貴文
委員	成田 浩
委員	佐藤 彰矩
委員	谷口 正行
委員	重水 富夫
委員	東 孝志
委員	坂口ルリ子
委員	中島 昭
委員	坂口 洋之
委員	門松 慶一
委員	上園 哲生

特別委員会を設置しました

決算審査特別委員会の設置について

平成16年度および平成17年度4月の旧4町の決算を審査するため、地方自治法第110条および第233条に基づき、「決算審査特別委員会」を設置した。

目的は、歳入の確保がなされているか、歳出が適正に執行されたかなどを資料に基づいて審査し、住民に代わってその効果を評価するものである。

この決算の審査結果は12月定例会で報告され、本会議で認定の採決を行う予定である。委員会の定数は14人で、委員は次のとおりである。

委員長	地頭所貞視
副委員長	田丸 武人
委員	鳩野 哲盛
委員	西峯 尚平
委員	松尾 公裕
委員	長野 瑳や子
委員	梶 康博
委員	西園 典子
委員	田畑 純二
委員	漆島 政人
委員	鶴園 秋男
委員	田代 吉勝
委員	花木 千鶴
委員	出水賢太郎

市議会政務調査費の交付に関する条例制定

地方自治法第100条第13項および第14項の規定に基づき、市議員の調査研究に必要な経費の一部として、政務調査費を交付する条例を制定した。

政務調査費は規則で定めた用途基準に従い使用する。市議会議員が政策の調査研究に必要な書籍代、文具代、印刷代、通信費、交通費などに使途は限定される。交付額は月額2万円で、収支報告書の提出が義務付けられている。なお、残余が出た場合は返還する。

10月3日・17日臨時議会の主な内容

10月3日と17日に臨時議会が開催され、10月11日のいちき串木野市発足に伴う、日置地区消防組合と日置広域連合の解散の関連議案16件の審議が行われた。

日置地区消防組合は日置市と市来町で構成していたが、市来町と串木野市の合併に伴い解散することになった。市来町の北部分遣所は廃止され、新しく北分遣所が東

市来支所内に設置される。今回上程された補正予算は、分遣所移転に伴う改修工事費5497万円が含まれる。

消防組合の財産分与については、日置市と市来町の基金負担割合と北部分遣所の財産処分の結果、市来町が日置市に1800万円を支払い、救急車1台と消防司令台は日置市が所有する。

日置地区消防組合解散後は、日置市消防本部を設置し、これまで通り消防・救急の業務を行う。

日置広域連合は、日置市と市来町の介護保険事務を扱っていたが、今回の合併に伴い解散する。財産は日置市と市来町の負担割合で分割処分し、日置市に約1億2439万円が帰属する。今後は市役所市民福祉部に介護保険課を設置し、業務を継続する。

また、消防組合・広域連合解散による市役所組織改編で、1部（消防本部）、1課（介護保険課）が増えたため、今回の補正予算で追加計上された。



常任委員会審査報告

総務企画常任委員会

平成17年度 一般会計補正予算
今回の補正予算は、現行の予算
額に3億3697万円を追加し、
歳入歳出それぞれ240億206
万4千円となった。

歳入の主なもの

交付決定によるもので、所得譲
与税4790万円減、自動車重量
譲与税7070万円減、地方特例
交付金2652万1千円減、地方
交付税1億9684万9千円減。

総務使用料（伊集院駅西側駐車
場使用料）433万1千円増、指
定寄附金（日吉地域に係るもの）
100万円増、財政調整基金繰入
金919万2千円減、雑入（日吉
地域に係る歳計剰余金）648万
2千円増。

市債は、臨時財政対策債111
0万円増、減税補てん債5億35
60万円増である。

歳出の主なもの

一般管理費1億1983万7千
円増は、行政嘱託員の報酬増や各
費目に計上してあった一般管理費
の共済費増によるもの。文書費2

65万円増は、個人情報の保護の
観点からの封かん機購入費など。
財政管理費293万8千円増は

人件費、会計管理費1110万8
千円減は人件費によるもの。財産
管理費263万3千円増は入札等
監視委員会の謝金、吉利駐在所解
体費などである。

企画費3975万4千円減は、

国土利用計画および日吉地域移動
通信施設整備事業による増と、合
併にかかる経費を精査し、不要額
を減額したものである。

広報費44万9千円増は市勢要覧
作成等で、情報管理費445万7
千円増はBフレッツ等電話料やパ
ソコン購入費などである。

税務総務費、賦課徴収費の増減
は人件費によるもの。

非常備消防費306万6千円増
は東市来・吹上支所の消防活動服
など、消防施設費60万6千円増は
防火水槽付帯工事費などである。

平成17年度 日置市国民宿舎事業
特別会計補正予算

現行予算額に31万8千円を追加
し、歳入歳出それぞれ2億844
8万円となった。歳入は事業収入

の増額、歳出は人件費の増額をし
たものである。

平成17年度 日置市国民保養セン
ター及び老人休養ホーム事業特別
会計補正予算

現行予算額に65万3千円を減額
し、歳入歳出それぞれ1億694
7万円となった。歳入は事業収入
の減額、歳出は人件費の減額をし
たものである。



国民宿舎「吹上砂丘荘」

環境福祉常任委員会

平成17年度 一般会計補正予算
歳出の減額4780万3千円は
民生費、衛生費の人件費に係わる
分で、総務費への組替えが主なも
のである。

社会福祉総務費の修繕料及び工
事請負費は、日吉福祉センター内
の温泉管布設替工事。扶助費50
9万1千円は身障者ホームヘルプ
サービス、補装具給付等の追加
分。

健康交流施設費の修繕料110
万円は浴室温泉制御部取替及び空
調機器修理等である。

児童福祉総務費の子ども・子育て
見守り推進事業126万円は子
育て支援及び児童虐待防止等の援
助を行うもの。母子家庭自立支援
給付金事業112万1千円は母子
家庭の各種講座、資格取得（看護
師、介護福祉士、保育士、作業療
法士等）への自立促進を図るもの。
児童福祉施設費166万2千円
は永吉保育所入所児童数増員に伴
うものである。

環境衛生費1340万4千円は
水道会計事業費負担金等。生ゴミ
処理器設置事業費75万円は日吉支
所に導入されるものである。

塵芥処理費の印刷製本費18万3

千円はコンテナ収集開始に伴う一般廃棄物処理計画表である。

質疑の主なもの

問 子ども・子育て応援隊のメンバーは。

答 母子保健推進員、児童委員等。

問 生ゴミ電気式処理機の実績は。

答 東市来101件、伊集院115件、吹上126件である。

問 コンテナ収集モデル地区名とその対応は。

答 東市来は中央、古市、田代地区。日吉は日置団地、日新、内門地区。吹上は永吉中和田、東本町、入来浜地区。9ヶ所の指導員に収集現場の視察研修を行い、分かりやすい分別方法の指導に努めたい。

問 コンテナ収集業者の選定は。

答 コンテナ等の有効活用や住民への適切な指導を図る為、コンテナ収集業務を熟知し現行する業者を選考。本格実施の18年度より入札、見積り制度となる。

平成17年度 国民健康保険特別会計補正予算

歳入歳出8385万3千円を追加し、歳出の主なものは老人保健拠入金。療養費精算返納金等である。歳入は基金繰入金6835万

1千円がなされ、基金積立金残高2億7784万9千円は、基金積立必要額の3分の1にも満たない状況にある。今後、医療費適正化に向け健康づくり運動に努められたいとの意見。

平成17年度 特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算

歳入歳出793万9千円の減額は人件費に係る総務費への組替であり、歳入は平成17年10月以降、施設給付費（食事・居住費）の法改正による介護給付費等の減額分。



地域医療の中核である日置市民病院（診察風景）

産業建設常任委員会

平成17年度一般会計補正予算
農林水産業費に関する補正予算は1億2711万円の増額補正である。

農林水産業費で主なものは、かごしま農林水産物認証（緑竹）推進事業補助金やお茶の乗用型茶摘採機2台の購入補助金、日吉地域の県営かんがい排水事業の増額補正、吹上地域で県営防災ダム事業負担金等である。

林業振興費では来年2月4日に東市来で行われる植樹祭に伴う、受賞者記念品代や植樹用の道具や苗木代等の経費である。

土木費に関する補正予算額は1億4007万円の増額補正である。

土木建設費で主なものは、美山インターチェンジ取付道路に伴う補正や、まちづくり交付金事業の2路線、道整備交付金事業の3路線の新規事業に伴う補正である。住宅建設費は新宮団地建て替えに伴う住宅移転費や家賃助成金等の16戸分である。

質疑の主なもの

問 イノシシが多発してなかなか絶えないようであるが、旧町を越えての発砲はできないのか。



建て替えられる新宮団地（伊集院）

答 猟友会と協議をして、お互い少しは入れるような申し合せをした。猟友会員は伊集院で47人、東市来で24人、日吉で11人、吹上で15人、永吉で14人で5つの猟友会がある。

問 新宮団地建て替えに伴う住宅移転費、協力費の内容は。

答 新宮団地は16戸の解体。5戸は民間アパートに仮に入ってもらったが、移転費として17万1千円を転入転出時にそれぞれ支払う。他の方は一律6万円の協力費を支払う。

平成17年度日置市公共下水道事業特別会計補正予算
歳入歳出それぞれ129万5千円を減額し、予算の総額は5億3332万5千円である。

平成17年度日置市水道事業会計補正予算
33万7千円を減額し、収益的収入支出をそれぞれ4億7002万1千円とした。

団体営農業用河川工作物応急対策事業油尾地区の事業申請に関する協議について

この事業は平成18年度新規採択希望で県と協議するため議会の議決が必要であり、現地調査し審議の結果、可決した。

教育文化常任委員会

平成17年度一般会計補正予算
教育委員会費 7万円増
事務局費 458万円減
小学校管理費 248万円増
小学校教育振興費 56万円増
中学校管理費 294万円増
中学校教育振興費 77万円増
幼稚園費 2万円増
社会教育総務費 1069万円減
公民館費 1165万円増

図書館費 116万円増
社会教育施設費 37万円増
保健体育総務費 1248万円減
体育施設費 5231万円増
給食センター費 19万円減

質疑の主なもの

問 同じ中体連の大会に参加しているのに、伊集院中と日吉中で助成額が違うのは何故か。

答 参加人数が違うためだが、交付要綱に従って正確に支払う。

問 日置市内の教職員住宅数は、市立学校は27校あるが、校長教頭住宅以外にも指導主事の住宅もあるのか、全部で63戸。

答 学校医、薬剤師の謝金は、合併後、報酬審議会で改訂して統一した為、伊集院のみ差額を補正した。残り3地域は後で補正する。

問 日置市社会科副読本の説明を。

答 小学3・4年生用として1200部作成予定で、3年間使用する。現在分は古いので来年新しくする。

問 小中学校の消耗品はどのようにして配分されているのか。

答 教育委員会が各地域へ予算を割り当て、学校ごとに規模等を考慮して配分している。

問 幼稚園費の賃金58万3千円の内容と育休と産休の説明を。

答 土橋幼稚園教諭の産休に伴う代替賃金で1日5500円の106日分。育休は本人の要望で3年間、3歳に達するまで3回申請できる。産休は産前に6週間は任意、産後8週間は必ず取得できる。

問 幼稚園で免許を持った教諭が休んだ場合の対応は。

答 校長が教頭が対応する事が多い。免許を持った他職員へ兼職辞令を出した事もある。検討する。

問 市立東市来幼稚園は登園降園の送迎があるが他地域は。

答 現在は東市来のみ送迎しているが、今後は統一へ検討が必要。



26人の子どもの面倒をみる教諭（伊集院・飯牟礼幼稚園）

問 幼稚園費謝金10万9千円はどういう意味か。又、園長・副園長の役割とは。

答 小学校の校長・教頭・養護教諭が幼稚園の業務も兼ねているので、各々年間5万円、4万4千円、1万5千円を支払っている。日吉分のみ計上もれがあったので、今回補正した。3名には各種行事への参加指導、人事管理、お泊り保育、遠足等、業務の一翼を担ってもらい、よく面倒をみてもらっている。

問 社会教育総務費補助金20万円は減額となっているようだが。

答 現在も旧4町の補助金はある。子ども会等4団体が市の連絡協議会を立ちあげたので、話し合いの費用を出すものである。来年はこれまでの補助金を含める。

問 東市来総合運動公園の土地購入費は。

答 土地開発公社から一般会計の中で、登記上の組み替えで買戻した。

これからどうする！「日置市」

より良い市政を目指して

9月定例会では18名の議員が登壇し、日置市の未来を見据え質問を行いました。

特別支援教育の取り組みについて



花木 千鶴 議員

問 特別教育から特別支援教育への移行段階にある。本年度、本市は県の推進地区の指定を受けている。今後、特殊学級の存続や新設について見通しは。

答 特殊学級を必要とする児童生徒があるので学級は存続すべきものと考え。県や国へも声を届けたい。開級には2名以上が必要。

問 通常学級に在籍しているLD・AD/H/D・高機能自閉症の児童生徒の実態把握や支援計画についてはどうか。

答 実態把握は本年度中にまとめる予定。コーディネーターや各小中学校の先生方の各種研修会を実施。校内委員会は未設置であるが、校内指導委員会を中心に、特殊学級との連携や指導法の研究実践につとめていく。

問 相互理解への取り組みは。
答 児童生徒には、あらゆる機会に豊かな心をもった人づくりの教育の推進につとめる。保護者への啓発や障害児保護者へは、教育相



県特別支援教育研究会日置大会研究授業
(伊集院北中)

談で専門的対応をはかっていく。
問 個別の支援計画では、乳幼児期から就労まで組織的な取り組みが必要とされているが、本市の状況はどうか。

答 発達障害者支援法で市町村の責任が明記された。早期からの発達支援が重要。関係機関のネットワークづくりを推進する。既存の協議会等を総括して、連携の協議会をただちに設置し、山積する課題に取り組んでいきたい。日置教育事務所に本年度中、連携協議会を設置予定。

LD〓学習障害。
AD/H/D〓注意欠損/多動性障害。

鹿児島市との交通アクセスと高校再編問題について



出水賢太郎 議員

問 鹿児島市との交通アクセス整備による利便性向上が日置市発展の鍵となる。国道・県道の整備の現状と渋滞解消の方策を伺う。

答 国道3号は下神殿の歩道を拡幅工事中である。武岡トンネルの早期整備を求め、渋滞解消を図る。県道鹿児島東市来線は池田高校付近を整備中で、徳重横井鹿児島線はチエスト館横井間を調査中。今後工事に着手する。

問 横井〓武岡間の鹿児島市道は日置市民の通勤利用も多いが、道幅が狭くカーブも多い。整備改良を求めるときでは。

答 水上坂に代わる常盤トンネルが開通、部分的改良も行われている。今後は鹿児島市と連絡協議会を設置し、担当レベルで協議する。

問 県教委は平成22年度までに県立高校82校を65校に再編する。日置学区の吹上・市来農芸・串木野の3校も対象だが、学区制の見直しや地元協議、他市との連携や県



整備が急がれる県道徳重横井鹿兒島線

への要望など、高校再編計画に市当局はどう対応していくのか。
答 本市の吹上高校存続には、定員充足率の維持が必要である。旧吹上町が行ってきた助成も継続する。学区外通学5%枠が10%に拡大されたが、県教委は学区制の全体的な見直しを来年3月の市町村合併終了後に実施するようだ。今後、いちぎ串木野市・金峰町にも関係するので、広域の地区協議会を設置し、情報収集や協議、県教委や県議会へ要望できないか、今しばらく調整を図っていきたい。

日置市活性化策について

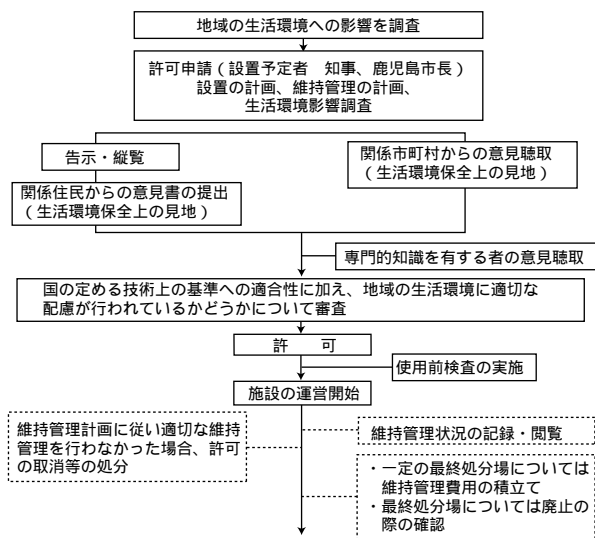


大園 貴文 議員

問 地域内運行バスの存続と低料金で走る日置市周遊バスの創設で福祉の充実を図り、市民交流から産業や商店街の活性化、更には観光へと繋ぎ活力ある日置市へと進めていくべきと思うが。
答 地域内運行バスについては、高齢者等の交通弱者の移動手段を確保する為の継続事業とする。伊集院地域についても民間バスやゆすいん号との運行方法・経路等を含め検討する。それぞれの地域を有機的に接続し市内全域を周遊できるよう検討する。市内各地で開催されるイベント等に市民が自由に参加できるように工夫し、早期実現に向けて進めていく。

問 バスの大きさや昇降口の低さ、障害者等車イスの利用については。
答 総合的に協議検討していく。

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づく手続き



問 環境問題では、吹上地域の野首地区内に不法投棄されている産業廃棄物や処理場再開について、旧吹上町議会・住民から県に対し幾度となく早期撤去の要請や再開反対の陳情が出されている。業の許可申請が出れば法的手続きで継続されると聞くが、前任者に出された許可は県の産業廃棄物ガイドブックの中にある「産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に照らしても許可取消の対象となる事から、住民の生命財産を守る為に業の差し止めを市として県に強く要請すべきと思うが。
答 住民の声を聞き県へ働きかけしていく。

介護保険改正・子育て支援とアスベスト対策



西園 典子 議員

問 介護保険改正で、予想を超える需要と高齢少子化対応のため、10月から食事代と施設居住費が個人負担となる。年金生活、高齢世帯の多い中、約3万円の施設入所負担増の影響をどうみるか。
答 年金80万円以上の利用者は負担増となるが、負担と給付の公平性が目的。低所得者対策などがあり、理解を求めたい。

問 介護予防・地域支援として、市が主体となり運営する地域包括支援センターの構想は。
答 保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員を中心とし、約1億1000万円予算で、運営協議会等、今後プロジェクトチームを作り十分検討しながら設立する。

問 4月からの予防事業の影響は。
答 現在要支援と要介護1の78割の1300人と地域支援の700人が対象と思われる、地域に於ける自立生活の援助が目的。

問 子育て支援への姿勢と対策



病気回復期の乳幼児健康支援一時預り

は。
答 仕事と子育ての両立は少子化対策に不可欠。次世代育成支援政策を確実に進めていく。
問 病後児・学童保育の充実は。
答 病気回復期の乳幼児健康支援一時預りは1ヵ所だけの実施だが、実態を把握し拡大等検討したい。

東市来湯田の学童保育は、来年度プレハブ舎の建設予定。
問 学校や公共施設のアスベスト使用状況と対策は。
答 吹き付けアスベストの疑いが2学校、2公共施設で見つかり、専門家に分析依頼している。

江口浜海浜公園の管理のあり方
 利用促進について



重水 富夫 議員

問 平成2年度より県の事業として実施されてきた江口漁港海岸環境整備事業は、総工費約45億円を投じ、総面積43000㎡で事業実施されてきた。一部は蓬萊館が建設され大盛況である。最終年度の19年度を待たずに海水浴場がオープンした。次の6点を伺う。

①今年度の入場者数。市内、市外多い方は。
 ②江口漁協への管理委託は県か、市か。
 ③人件費等の管理費はいくらか。
 ④駐車場の夜間締め切りは警察の指導か。
 ⑤シャワー、ロッカー代は今年無料だったが、来年は。
 ⑥来場者に対し、市の案内看板等が足りないのでは。
答 ①6665人、市外が多い。
 ②市が委託。
 ③見込み合計812万4千円。
 ④事件、事故等を考慮し警察と協議した。
 ⑤県からの引継ぎ等で不備があり、今年度は無料とした。来年度以降は有料を考える。
 ⑥看板等の設置を考える。
問 議会は、市の具体的政策を最

最終的に決定する機関である。議会が決定した政策を、執行機関は事務処理しないし事業実施する。それが全て適法適正に、市民の立場に立ち公平効果的に、そして民主的になされているか批判し、監視する役目を議員は負っている。
 議員が質問を行った後の、市長、教育長の対応を伺う。

答 議員の一般質問の後、企画会議などで、各担当課長より経過、進捗よく状況、結果等報告を受けている。今後議会事務局とも打ち合わせを行い、出来るだけ機会を捉え随時行っていく。



江口浜海浜公園（上空写真）

平成18年度予算に市独自の事業を考えないか



梶 康博 議員

問 鹿児島中央家畜市場は統合されると聞くが、具体的には。

答 関係機関からは正式には聞いていない。県経済連の諮問機関では、一市場あたり年間2万頭規模の子牛セリが望ましいと答申があった。鹿児島中央家畜市場は年間4600頭ほどで、曾於・肝属市場以外の県内10数カ所は対象になるが、市のほうには通知はきていない。

問 宮路市長は伊集院町長時代より通算5期目となる。18年度予算で市独自の事業は考えないか。
答 平成17年度は旧町持ち寄り予算で、240億円の一般会計である。この事を踏まえて18年度予算に対処するが、17年度以上の規模は難しい。歳入の確保と基金の運用による財源の確保を考え、特に18年度は、少子化について今までの以上の特色を、と考えている。
 子育て支援については、議会とも協議し新たな単独事業を考える。



鹿児島中央家畜市場のセリ風景

問 農道・水路等の受益者負担の軽減は考えないか。

答 合併協議会での調整項目であった。18年度予算編成の中で効果を総括し、十分な精査をした。

問 都市計画区域の里道等の負担は、どうなっているのか。

答 伊集院地域については、調整の必要があると考えている。

問 農道・水路等は国に帰属し、交付金の算入もあると思うが。

答 改良区の施設の管理維持については、国の機関の中で管理費をみてほしいと陳情も行っている。

災害対策についてと旧南薩線跡地の管理と利用策は



成田 浩 議員

問 台風などの災害時の避難体制はどうなっているのか。

答 東市来地域12カ所、伊集院地域17カ所、日吉地域7カ所、吹上地域14カ所を避難場所に指定している。

問 災害のあとと救護体制はどうなっているのか。

答 市の災害対策本部を設置し、公共施設・住宅の被害は総務企画部、社会福祉関係は市民福祉部、土木・農林水産業関係は産業建設部、教育施設関係は教育委員会で対応していく。

問 危険箇所（ハザードマップ）の確認は取れているのか。

答 危険箇所は524カ所あり、ハザードマップの作成後、各自治会に配布する。

問 復旧への体制は取れているのか。補助対象・対策はどこまでできるのか。

答 補助対象外でも早期に復旧する場合は、重機借上げで対応する。

問 消防団の災害時の救援救護に



旧南薩線跡地

ついて、地域を越えた広範囲な対応も必要と思うが。

答 各方面団と話し合っていく。

問 旧南薩線跡地が県・市に分譲されているが、今後有効利用できるのか。

答 確定測量後、集落道路等へ払い下げる予定である。また多角的に検討していく。

問 管理されない為に安全面、防災面で危険であるが、どのように取り組んでいくのか。

答 地域住民の協力をもらって管理していく。未買収が16400㎡残っている。

本市の財政運営について市長の考えを問う



池満 涉 議員

問 市内の大手職場のリストラ等、市民生活は厳しいが今年度の市税見込みは大丈夫か。

答 よほどの事が無い限り確保できると思う。

問 交付金の見込みはどうか。

答 見込みは73億円、交付額は69億7千万円で、不足分は特例債でカバー。

問 人件費支出が大きい。削減策は。

答 10年間で97人削減予定。行革委員会の答申に沿って進める。

問 市の借金総額、昨年度の施設の維持管理費総額を示せ。

答 借金は約410億円。維持管理費は約4億3千万円。

問 東市来文化交流センターの維持管理費をいくらと予測するか。

答 人件費を入れずに、2240万円。

問 一般的に民間委託の方がコストが低い、どう分析するか。

答 賃金体系の違いと、コスト・ノルマ達成意識の違いと思う。



10月29日落成の東市来文化交流センター

問 旧4町にあった退職時特別昇給制度は新市でも継続するのか。
答 今年の4月から廃止した。
問 財政計画の基本は、支出が先か収入が先か。
答 収入予定が先であり、支出削減が絶対条件である。

問 市民に市の財政実情を知らせる為に、貸借対照表の作成、公表が必要だが。
答 平成18年度と平成19年度を比較して、平成20年度には公表したい。
問 財政改革に職員意識の高揚も必要だが。
答 市民に評価される役所、職員を目標に頑張りたい。

これからの市道をどう計画・構築していくか。水道完全普及について



下御領昭博 議員

問 規格や構造によって異なるが、市全体で年間約何km程度整備するのか。
答 17年度市道の計画は、21路線総延長で3600mの改良を計画している。今後さらに補助事業、交付事業起債を導入しながら、計画的な道路整備を推進していきたい。

問 市道で、車の離合も出来ない狭い箇所が見受けられるが、何を基本に整備を進めているのか。
答 一部狭い箇所については、地域の要望を含め安全性を考慮し、整備を行っていきたく考える。
問 道路整備を計画する際、優先順位はどのような方法で決定しているのか。
答 基本的には、総合計画の自主計画に整備路線を上げ、緊急性・安全性を考慮し、地域の協力体制が整った路線から整備を進める方法をとっていききたい。

問 市民が健全な生活を送るには



大型車も通る危険な市道（伊集院・下神殿）

安全・安心な飲料水の確保が、不可欠と考えるが。

答 市民が健全で文化的な生活を送るためには、安心・安全な飲料水が是非とも必要であると認識している。日置市の水道普及率は、県平均を下まわっている。特に、伊集院地域においては、国道3号北部の水道事業の整備がなされていない現状である。この地区の水道整備事業は、本市の重要課題であると思っている。今後の日置市発展のためにも、水道整備は不可欠である。住民の意をくみ上げながら整備に取り組んでいきたい。

新市建設の基本方針をどう考えているか



田畑 純二 議員

問 日置市まちづくり計画の地域別の振興方向の中で、日吉地域をどうしていくつもりであるか。
答 日置市総合計画を議会の議決を得て今年度策定し、その実施計画で具体的に進めていく。

問 榎園・住吉・松山公営住宅の建て替えはいつ頃で、どんな建物か。
答 榎園住宅については平成15年度全体計画の基本設計を実施しており、日置市総合計画に位置づけて整備していく。他については基本設計を実施していない。
問 学習情報センターの建設予定はいつ頃で、どんな建物か。
答 合併協議会の中では具体的な検討は何もなされていなかった。
問 新規就農者助成制度や農業後継者育成制度等を充実、強化したらどうか。
答 吹上支所で農業公社の事業として実績があり、これを市全体に取り組みにするため、枠拡大や新たな体制づくりに向けて作業を進



日置市総合計画と新市まちづくり計画書

問 集落営農体制づくりを進めて
 答 市においても農林事務所、普及センター等、関係機関と一体となり、各地域でその組織を進める。
 問 いきいきすこやか拠点整備プロジェクトにおいて、日置市民病院あり方検討委員会を設置しては。
 答 今後の病院事業のあり方については、行革推進委員会や検討委員会を設置して検討する。
 問 いきいきすこやかセンターの整備はどの程度進んでいるか。
 答 総合計画の実施計画に入れる。

贈収賄、談合事件での反省とこれからの対応について



松尾 公裕 議員

問 旧伊集院町の贈収賄事件と談合事件で、当時の町長の管理監督とリーダーシップに問題があったのでは。又各課での課長の管理指導に甘さがあったのでは。
 再発防止の為の対応と、これから未来に向かって市民から信頼される明るい日置市にしたいものだが。

答 部下職員の行動に対して管理監督者として甘さがあった。上司の懲戒減給処分や自分も道義的責任をとった。日置市に悪いイメージをもたせ市民に迷惑をかけた。再発防止については、職員の服務規律や研修の充実、業者との対応や入札制度の見直しをしていく。
 問 今回の補正予算の基本的な考えと予算査定にあたって支所の担当課との協議は十分であったか。危険箇所や緊急性を必要とする所は、市民生活の安全性を考え補正予算で対応すべきと思うが。
 答 基本的に旧町において総括した予算を当初に上げる考えであつた。

た。残った事業については来年度当初予算に上げてもらいたい。災害とか緊急を必要とする所は補正で対応する。

地方税について



谷口 正行 議員

問 農家・市民に対する償却資産の課税のあり方が合併前に各町ばらばらであった。ゆえに合併後の現在においても、その課税のあり方が尾を引いており、一部地域の農家対象者が不公平ではないか、と日置市に不信感を持っている。
 5月1日合併後の日置市民は、皆平等でなければならぬが、今回の償却資産課税のあり方は公平を欠いていると思われる。課税のあり方を検討すべきと思うが、市長の考えを伺いたい。



償却資産税の対象になるビニールハウス

答 償却資産税は所有者の自主申告になる。これまでも旧4町で課税はなされていたが、各町ばらばらで、申告漏れもあつたようだ。今回の調査を踏まえ、不正な申告を排除し、適正化を図っていく。これまでの申告漏れに対しては、悪意のものか、又行政の指導が悪かったのか、内容によって対応していきたい。
 市民公平な中に課税するのが当然であり、今後は均衡ある平等な課税に努めていきたい。

アスベスト対策と職員の健康問題について



坂口 洋之 議員

問 新聞やテレビ等で連日、アスベスト(石綿)の粉じんを吸ったことにより、全国各地で死亡したケースがある。市民からも、アスベスト使用に関する不安の声がある。本市の公共施設や水道管など使用されていないのか、また安全性については問題はないのか。

答 本市でもアスベスト水道管が、3474m使用されている。厚生労働省によると飲料水の安全性については問題ないとのこと。できるだけ早急に取り替え工事を進める。

2校の屋内体育館、2教育施設等で、吹きつけアスベスト使用の可能性がある。損傷・劣化の問題はないが調査を十分に安全について対応したい。

問 合併により、一部市職員は毎日遅くまで勤務するケースがあるようだ。人員は適正に配置されているのか。最近ストレス社会といわれる。本市で職員が心の病気などで、長期にわたり休職する

ケースもあるようだ。どのような対策を取っているのか。

答 一部の担当などで遅くまで残業するケースもある。今後、事務配置を含めた適正配置をしたい。現在、2名の職員が休職している。精神面の早期対策・早期治療・円満な職場復帰が基本と考える。安全衛生委員会を開きたい。



機械室でのアスベスト使用が疑われる伊集院文化会館

吹上高校の存続問題について



中島 昭 議員

問 吹上高校は大正14年に開校以来、今年創立80周年を迎えようとしている。生徒数が1300名を

超える時期もあったが、平成9年度から一学年3学級になって現在に至っている。旧吹上町では平成9年度『吹上高校活性化対策協議会』を立ち上げ、翌10年から支援事業が始まった。県教委は平成15年、県立高校再編の基本計画『一学年3学級以下の小規模校を適正化する』と発表。吹上高校も再編の対象校になっている。そこで、高校再編についての基本的な考え方と、吹上高校存続問題をどのように考えているか問う。

答 少子化に伴い統廃合問題が起きている。吹上高校は存続しなればならないと考えている。活性化対策協議会は日置市として継続したいと考えている。再編となれば、吹上高校敷地が中心になって再編出来るよう努力したい。

問 対策協を立ち上げたいとのことだがいつ頃か。

答 今年中に立ち上げたい。

問 補助金について問う。日置市内から214名、62



資格取得に向けて頑張る吹上高校生

%の生徒が通っている。年々資格取得者が増え昨年の資格取得補助率は18%になっている、補助額を増額すべきだと考えるがどうか。

答 活性化対策協議会で増額や内容について決めたい。

問 現実的には小・中学生の進路に関わるが関係者への周知などは。

答 新聞でも紹介されたように、素晴らしい高校とPR等したい。

農地の荒地及び遊休農地の活用について



西峯 尚平 議員

問 高齢化が進むと同時に地域農業を取り巻く状況は大きく変わってきている。祖先から譲り受けた地畑が、後継者がいないのか、耕作放棄地となっている。市長はどのように思うか。

答 少子高齢化が進み荒地が増えるということは、大変心の痛む思いがする。



江口川の堤防・中洲の草払い清掃（東市来）

問 昔の面影がない現在の河川。土砂のたい積によって中洲ができ、その中洲に雑草が繁り、川幅が狭くなり災害等が考えられる。市は県にどのような働きかけをしているか。

答 写真等をつけて再三お願いしているが、今後も続けていく。

理想的な学校給食のあり方について



坂口ルリ子 議員

問 学校給食の望ましい形は自校方式である。つくる人・食べる人の人間関係が大切。民営化されると、安全でなく不安。安あがりでもうけの対象にされる。

答 行政改革推進委員会で、自校方式、センター方式、民営化など、どの方法が良いか考えていく。

問 福祉巡回バスについて、6月議会の答弁で18年度から実現とのこと。その後の進捗は。

答 9月14日、陸運事務所と話し合いをした。ゆすいんバスを廃止し、コミュニティバスを走らせる。今、路線の検討をしている。

問 市花・市木・市民歌の制定をどう考えているか。ちなみに東市来はカンナとサザンカ。伊集院は梅といす。日吉はツツジと椿。吹上はツツジとサザンカ。

答 18年度に予算を組み制定



たのしい学校給食（吹上・永吉小学校1年生）

する。

問 談合問題について、10社の従業員は277人という。家族は800人を超えるのではないかと。生活援助方法、仕事の紹介、無担保、無利子の貸し出し等、考えないか。

答 行政として、そんなことはできない。

問 伊集院地域駅伝はやめて、梅マラソンと一緒に考えられないか。

答 駅伝の反対の声はない。例年どおり実施する。

談合の再発防止策について



地頭所貞視 議員

問 談合事件の経過と、今後の談合防止策の具体的な考え方を示せ。

答 談合事件で10社を指名停止処分にした。二度とこのような事件が起こらないように全力で取り組む。現在、予定価格の事前公表、指名業者の事後公表をしており、成果が出ている部分もある。

具体的な談合防止策には、大きく分けて

①談合によって得られる利益を小さくする。
②談合が摘発される確率を上げる。

③談合が摘発された場合の罰則を強化する。

④談合をやりにくくする。

この4つであるが、最も重要なのは談合をやりにくくする発注システムの構築である。今後、公募型指名競争入札、一般競争入札、電子入札等の新しい入札制度を検討していく。談合による損害賠償請求も考えていきたい。10月中旬

外部委員による入札監視委員会を立ちあげる。17年度に要綱を作り、新しい入札制度は18年度から実施する。

3～4年続けていかなければ、きちつとしたものは出てこない。他の自治体のモデルになるよう、入札制度を含めて監視委員会にお願いし、市民の信頼を得る。日置市の新しい入札制度を皆で作っていききたい。

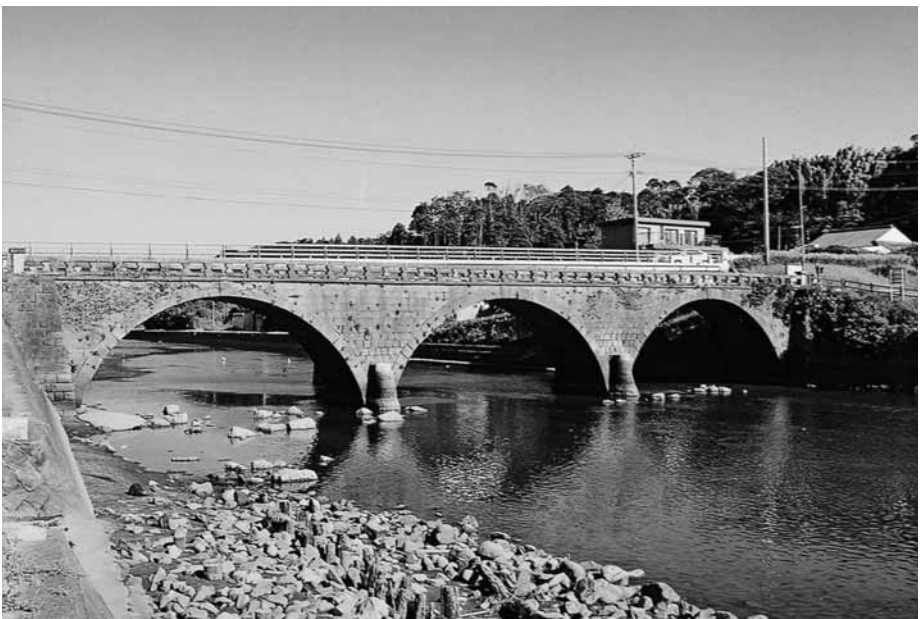
子育て支援策の充実と職員意識改革へのとりくみは、国県道・河口の整備促進を



長野磋や子 議員

問 安心して産み育てる環境づくりのために地域子育て支援センターやファミリーサポートセンターの充実や出産祝金支給の復活は。

答 支援センター、サポートセンター未設置地区は子育て支援計画の中で充分検討する。出産祝金は廃止し、乳幼児医療や保育等、母子保健推進事業や次世代育成支援策で充実していく。



永吉川にかかる浜田橋（吹上）

人事・業務計数の危機管理を徹底し計画的に研修等の実施を図る。

問 国道270号、県道35号の歩道整備、県道296号の危険防止等、早急な対策が必要だが。

答 国県道とも旧町より引継ぎ課題である。児童生徒や地域の住民の安全確保の為、関係機関へ要望協議を進めていく。

問 永吉川河口治水対策、直売所・浜田橋を一体化した公園化への取り組みは。

答 永吉川河口の堆積砂の影響は災害時でも重要課題であり、重点的に関係機

関へ要望していく。海岸道路、直売所や浜田橋を一体化した都市計画での公園化は、総合計画や地域審議会で検討する。

問 職員の政策形成能力や住民サービスの向上を図るために、職員提案制度の確立、写真入り名札、いろは歌机上旗等の実施、危機管理意識の研修実施は。

答 職員や現場の意見を自由に提案させ評価し改革に反映させる。全体の奉仕者の自覚のため、名札の実施やいろは歌等は検討する。

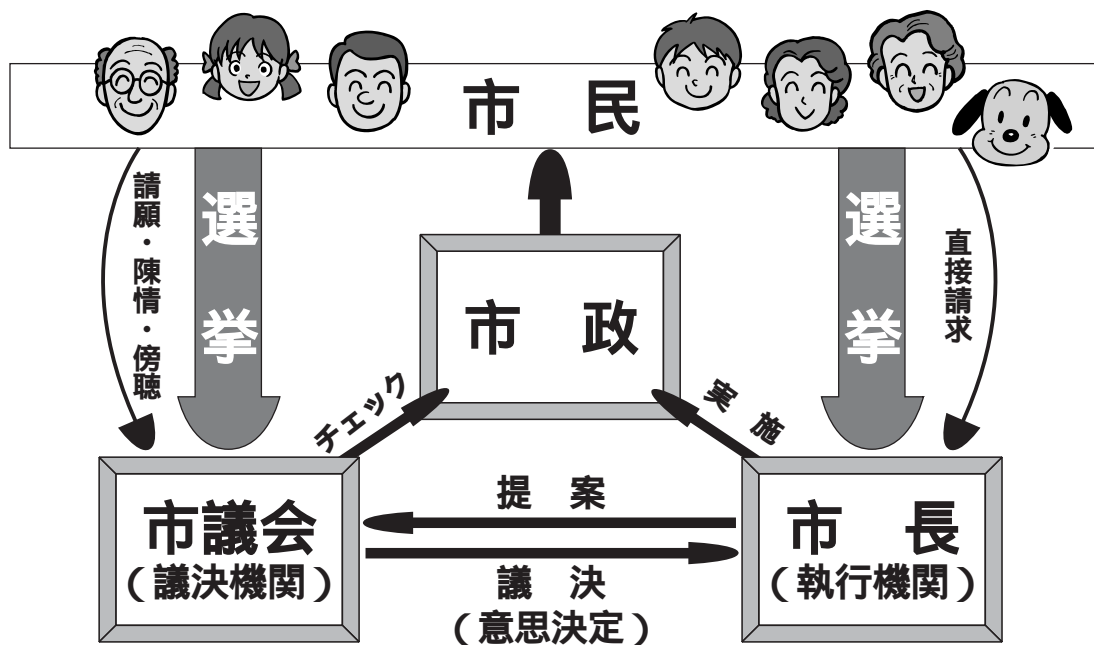


市議会のしくみ

私たちの日置市をより快適で住みよいまちにするためには、地域社会のさまざまな問題について、市民が自分たちで考え、話し合い、解決していくことが大切です。

しかし、市民全員が集まって話し合い、市政を運営することは困難ですので、市民（有権者）の皆さんが選挙によって代表者を選びます。これが市議会議員と市長です。代表として選ばれた市議会議員は市議会を構成し、市民に代わって市政の方針を決定したり、市政のチェックをします。一方、市長は市議会で決めたことに基づいて、実際に市政を行います。

市議会と市長は、互いに独立した対等な立場にあり、けん制・協力をし合って、より良い市政の実現に努めています。



議会の主な権限

- ①議決権
条例の制定・改廃の議決、予算の決定、大規模工事や高額物品の購入等の重要な契約をするときなど、市にとって重要な事件を決定する権限。
- ②選挙権
議長、副議長、選挙管理委員会委員などを選挙する権限。
- ③同意権
市長から提案された人事案件（助役・監査委員など）の選任等について同意を与える権限。
- ④請願、陳情の審査、調査
市民から提出された請願や陳情を審査、調査し、市政に反映させる権限。
- ⑤意見書提出権
議会としての意思を意見書にまとめ、国や県の関係行政庁などに提出する権限。
- ⑥検査権、調査権
議会で決定したとおりに市が業務を行っているか、検査、調査する権限。



吹上地域・永吉
寺田 敦子

郵政民営化を旗印に第3次小泉内閣が発足しました。テレビで放映される国会の様子を見ながら、新生日置市議会の様子を思い出しました。
二コースでは柵ボタ(?)で国会議員になったと喜ぶ新人もいま

したが、こちら日置市の議員の皆さんは、それぞれに市民の信頼と期待を担った意気を感じました。旧町の議会は何回か傍聴しましたが、記念すべき新生市議会、そして我ら女性の代表(もつと多くてもいいのに!)の活躍の様子にエールをおくりたくて傍聴しました。「新人議員のスタートは?」など、期待半分、心配半分で傍聴席につきました。
そこで嬉しいことがあります

た。私と話したこともない議員さんが、私が常日頃願っていることを提案されたのです。議員さん達は、どこであの様な質問や提案をまとめられるのでしょうか?
議長さんも「市民の率直な意見を!」と言っておられました。三位一体改革の厳しい時ですが、日置市民の付託に応えようと努力される30人の議員さんにエールをおくり、帰宅の途につきました。

傍聴席から



伊集院地域・上神殿
菅原 正義

私たちがとても大切な一票を投じ、5万3千人の市民の代表として日置市政を任せられた議会の傍聴に行きました。今回の傍聴は、いわゆる小学校のPTA参観日のような感じでした。
気になる一年生議員の一般質問

は、日ごろの勉強の成果がはつきりと感じられるものでした。それがベテラン議員の皆さんにも、少なからず良い影響を与えていたようです。そして何よりも、市長の誠意のある答弁も納得できるものでした。
傍聴は議会活動にふれることができます。最も身近な方法です。個人でも団体でも簡単に傍聴ができますので、市政に対する関心を深

め、議員の活動をよく知るためにも、皆さんにも是非傍聴して欲しいと思います。
市議会は、国会や県議会などとは違って、我々の生活に密着した本場に身近な事や問題が真摯に議論される現場です。傍聴席の人も身を乗り出して、メモを取る熱心さです。このような市民の方々がいろいろやることに意を強くし、大変うれしく傍聴をさせてもらいました。

傍聴に来てみませんか。

- だれでも自由に傍聴できます。
- 受付簿に住所・氏名を記入していただくだけです。



編集後記

新市が発足して半年が経ちました。私たちが市議会も旧町の垣根を越え、新市の未来へ向けた議論を活発にいたしております。
市議会だより第2号も、手探りしながら発行できました。市民の皆さんのご感想をお待ちしております。日に日に寒くなりますが、お体にご自愛ください。

広報編集委員会

- 委員長 池満 渉
- 副委員長 出水賢太郎
- 委員 花木 千鶴
- 椋 康博
- 西園 典子
- 門松 慶一
- 下御領昭博
- 坂口 洋之

訂正・お詫び

創刊号の記載で誤りがありましたので、訂正してお詫びいたします。
・16ページ4段 江口浜荘の年間利用者数
(誤) 7万2865人。
(正) 7万2865人。